

政策課題④ 不登校や障害のある子どもたちに
地域の学びの場としての役割

「不登校児童生徒の支援」

LINK+

(南島原市地域クラブサポートセンター)

南島原市立小中学校不登校生徒（令和7年度）

南島原市適応指導教室「つばさ」

通級生徒 **7名**

小学生1名 中学生6名

学校復帰を目指している
児童生徒7名

小中学校在籍数 **2767名**

小学生 11名（1807名）※0.6%

中学生 29名（960名）※3.9%

不登校生徒総数(R7.7月末時点)

令和7年度 34名(1.8%)

学校で対応中の生徒

月の半分以上の欠席した数

7日以上連続して欠席した数

別室登校等を考慮すると

さらに数は増加する。

「不登校支援」の考え方

学校支援

学校として
制度整備

教職員研修

- スキル（対応）研修
- 生徒指導研修等
- 人権教育研修

組織体制の構築

- 連携体制(ケース会議等)
- 養護教諭、相談員、SC
との連携体制 など

学校外支援 専門機関との連携

社会教育を基盤
関係機関整備

POINT

学校との連絡調整
「つばさ」の効果的活用を促進する

「つばさ」との連携

- 情報共有
- SSWとの連携
- 初動対応と初期対応で活用
する
- 活動内容に関する情報交換
- 家の外に出す「第一歩」活
動の推進

コミュニティ

- サポートセンターとの連携
- 専門機関との連携
- 地域人材を活用
- **不登校児童生徒の加入可能
な地域クラブの設立（企業
型クラブ）**

支援

具体的支援の企画
連携機関との調整

保護者連携
保護者価値観の共有

早期発見・初動対応

目標や行動指針の設定、研修などで実際に効果的な支援を行う

- － 行動指針の設定と管理
- － 長期目標・中期目標・短期目標の設定
- － 必修の研修による体系的な知識・スキル習得
※教職員の意識改革
- － リーダー、キーパーソンの決定（連絡体制）

見逃すことが多く、担任が一人で抱え込む危険性がある領域

- － 早期発見の為の指針設定、組織対応の設定
- － 関係者(養護教諭等)からの自発的な発信
- － 初期対応の見直し（意見交換）
- － 組織横断でのコミュニケーション

表層的な課題

- 一人で抱え込まない
- 「つばさ」の周知・活用
- 「つばさ」の支援

- 保護者との日常的な連絡
- 校内研修に企画
- 外部団体との連携・支援

本質的な課題

- 不登校傾向がある児童生徒への初期対応が個人で行われている傾向がある
- 学校の個別対応(教職員への負担増)
- 保護者の教育力の低下
- ゲーム依存など不登校となる原因の多様化

- 組織体制の見直しと連携体制の構築
- 外部人材の活用（CSの共同本部の人材から協力依頼。つばさを初期段階で活用（イベント開催等）
- 社会教育、家庭教育の充実
- 多様な活動の場を提供
- 研修の機会の確保

POINT

短期的な成果にとらわれ過ぎず、児童生徒・保護者の心に寄り添った支援を行うための施策。

これまでの支援

適応指導教室「つばさ」

①不登校支援プログラム作成

②関係団体との連携（SSW）

目標 「学校復帰」が最終目標であるが
子供たちの学びを保証する。



南島原市立小・中学校

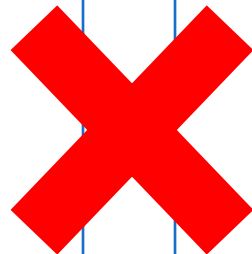
①不登校支援プログラム（保護者連携）

②教員の意識改革

③初期段階での活用

④教育委員会との連携

それぞれの強み



を掛け合わせる

新しい支援

南島原市地域クラブサポートセンター

不登校生徒を対象とした

「ふみだそう！一歩先へ」イベント（年3回）
※不登校支援プログラム



1 株式会社 「ミナサポ」（詳細は次ページ）

①イベント協力 「e-sport」

②認定地域クラブの実施

2 関係団体

①スポーツ推進委員会

②その他スポーツ・文化団体、クラブ等

「OPACU～オパキュー～」の趣旨

※地域展開が進んでいる分野

メジャースポーツ等

制度・体制整備

認定地域クラブの設立

- 認定制度
- 指導者登録
- 資金補助の充実

組織体制の構築

- サポートセンター設立
- 学校との連携

※地域展開が遅れている分野

株式会社 「ミナサポ」

<コンセプト>

未来・世界につながる
子供たちの「自発的な
好奇心」を加速させる
機会を提供する。

POINT

新

企業型クラブ

活動概要

- 週に1回（木）
 - 17:30～20:00
（参加できる時間帯で）
 - 費用は「ミナサポ」負担
 - 入会は「アザリーベン」HPから
 - 小学校5年生から高校3年生まで
- ※不登校生徒にも豊かな体験・経験を

地域クラブ × 不登校支援

- サポートセンターとの連携
サポートセンターと「つばさ」連携イベントを支援することで自主探求活動への参加の入り口とする。
- 個々のニーズに合った取組
芸術系、音楽系、人文系（語学）、情報系（☆オススメ）、ロボット製作（☆オススメ）、理科系、e-sport系（☆オススメ）

企業の「強み」を生かし、個々の自主探求心を加速

「豊かなネットワーク」「自由度」「資金援助（負担軽減）」「専門性」

「スポーツ推進委員」の趣旨

※生涯スポーツの推進「健康寿命の延伸」

メジャースポーツ等

制度・体制整備

推進競技の普及・発展

- ・ 研究大会
- ・ 地域展開

組織体制の構築

- ・ サポートセンター設立
- ・ 学校との連携
- ・ スポーツ推進活動

※小中学生にも豊かな体験を

南島原市スポーツ推進委員会

<コンセプト>

未来・世界につながる子供たちの「生涯スポーツ」きっかけとなる機会を提供する。

POINT

新

地元団体

活動概要

- ・ 各地区で推進活動の展開
- ・ 普及活動「モルック」
- ・ 研究大会の企画・運営
- ・ 研修会への参加等

※不登校生徒にも豊かな体験・経験を

スポ推委 × 不登校支援

- ・ サポートセンターとの連携
サポートセンターと「つばさ」連携イベントを支援することでコミュニティ構築の入り口とする。
- ・ 個々のニーズに合った取組
- ・ 不登校児童生徒のエネルギー
- ・ 豊かな地域コミュニティの構築
- ・ 地域で育てる仕組みづくり

団体の「強み」を生かし、小中学生にも手軽に楽しめる
「アーバンスポーツ」「楽しさ」「コミュニティ」を提供する。

1 目的 南島原市立小中学校に在籍する不登校児童生徒（※ここで示す不登校児童生徒とは「児童・生徒数集積

状況等調査」にて長期欠席者として報告をされている児童生徒）及び現在「つばさ」に通級している児童生徒を対象に「家の外に一步出る」ことを目的に支援を行い、不登校児童生徒数の減少を目指す。

2 取組内容 また、適応指導教室「つばさ」を周知するとともに地域団体との連携を図る。

(1) 南島原市教育委員会学校教育課、適応指導教室「つばさ」、南島原市地域クラブサポートセンターが連携

した「三者（学校・専門機関・地域団体）会議」を設置する。

(2) 南島原市適応指導教室「つばさ」と市教育委員会が南島原地域クラブサポートセンターと連携し、「つばさ」

までの送迎や、「つばさ」の施設でのアーバンスポーツイベント等を実施し、「つばさ」を活用する。心理的ハードルを下げるとともに不登校児童生徒の多様な活動の機会を提供する。

【イベント企画】（令和7年度予定）

・第1回目 e-sport体験イベント（R7.10.2）

(3) ・第2回目 適応指導教室「つばさ」での体験イベントの認識を深め、効果的な活用を推進するために周知活動等を支援する。

また、継・第3回目 ピックルボール体験イベント（予定）

続した効果的なプログラムを提供するための不登校児童生徒支援プログラムを作成する。

作成までの実施方法とスケジュール

実施方法

計画立案と
体制構築

南島原市教育委員会関係各課で企画の素案を整理。効果的な不登校支援の在り方、目的の明確化、担当範囲の分担、関係機関との連絡体制を整備。関係学校とも連携し、支援プログラム素案の設計方針を固めた。

三者会議
(事前協議)

南島原市教育委員会及び「つばさ」・南島原地域クラブサポートセンターが連携し、目的の明確化、担当範囲の分担、関係機関との連絡体制を整備。関係学校とも連携し、支援プログラム素案の設計方針を固めた。

イベントの
企画・運営

全3回のイベントを実施。不登校生徒が「参加しやすい種目」「参加したくなるイベント」を構成した。

アンケート調
査の実施

参加生徒・保護者・関係教職員を対象としたアンケートを実施。設問設計は選択式＋自由記述形式で回収。結果を分析し、「つばさ」の理解促進を可視化した。支援プログラムを設計した。

スケジュール

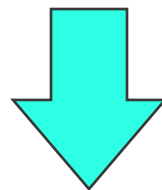
年	月	スケジュール	年	月	スケジュール
R7	6月		R7	11月	イベント実施 アンケート調査
	7月	南島原市地域クラブ サポートセンター設立		12月	イベント実施 アンケート調査
	8月	不登校支援イベント企画・ 立案 関係各課と内容について協 議	R8	1月	アンケート集計、分析 「三者会議」の実施 不登校支援プログラ ム策定
	9月	「三者会議」の実施		2月	
	10月	イベント実施 アンケート調査		3月	

3 協力団体（令和7年度）

- | | |
|---------------------|-----------|
| ○NPO法人TEAMひまわり・・・ | 無料送迎サービス |
| ○南島原市ピックルボール協会・・・ | 講師派遣、用具準備 |
| ○南島原市スポーツ推進委員会・・・ | 講師派遣、用具準備 |
| ○株式会社ミナサポ・・・・・・・・・・ | 機材提供、運営支援 |

※協力団体を増やすとともに、今後、コミュニティ・スクール及び地域学校協働本部とも連携できる仕組みを構築する。

協力団体を増やす



地域が支える仕組み

「南島原市地域クラブ活動応援企業・団体登録制度」の活用

～南島原市から未来へつなぐ「南向きに生きよう!!」～

子どもたちの **「やりたい!」 「チャレンジしたい!」**

を**全力応援!**